

船舶事故等調査報告書

平成22年1月28日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009広第145号	
事故等種類	乗揚	
発生日時	平成21年5月19日（火） 15時07分ごろ	
発生場所	広島県大竹市阿多田島高山三角点（204）から真方位115° 1,110m付近（概位 北緯34° 11.3′ 東経132° 19.2′）	
事故等調査の経過	平成21年5月25日、本事故の調査を担当する主管調査官（広島事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	<p>船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等</p> <p>モーターボート 藤丸、5トン未満（登録長6.94m） 270-16080広島、個人所有</p> <p>乗組員等に関する情報</p> <p>船長、二級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定</p> <p>死傷者等</p> <p>なし</p> <p>損傷</p> <p>プロペラ脱落、プロペラ軸曲損、船底部擦過傷</p>	
事故等の経過	本船は、船長1人が乗り組み、1人を同乗させ、船首約0.3m、船尾約1.1mの喫水で、阿多田島東岸沖を南南東進中、平成21年5月19日15時07分ごろ、水面下の干出岩に乗り揚げた。	
気象・海象	<p>気象：天気 晴れ、風向 南東、風速 約1.9m/s</p> <p>潮候：潮汐 上げ潮の中央期</p>	
分析	<p>乗組員等の関与</p> <p>船体・機関等の関与</p> <p>気象・海象の関与</p> <p>判明した事項の解析</p>	<p>あり</p> <p>なし</p> <p>あり</p> <p>本船は阿多田島東岸沖を南南東進中、船長が前路の海面上に何も見えなければ航行可能と思い込んでいたものと考えられる。</p> <p>当時、上げ潮中央期で、前路の干出岩が水面下になっていた可能性があると考えられる。</p>
原因	本事故は、本船が阿多田島東岸沖を南南東進中、船長が前路の海面上に何も見えなければ航行可能と思い込んでいたため、前路にある干出岩に気付かずに航行して乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。	